

手順①

都加算請求書
(共同生活援助)

記入例

代表者印

平成 年 月 日

日付は空欄にしてください。

代表者印を2箇所押印してください。

(請求先)

文京区長 殿

下記のとおり請求します。

請求事業者	法人住所 (所在地)	〒112-8555 文京区春日1-16-21
	法人名称	社会福祉法人文京会
	代表者 職・氏名	理事長 文京 一郎

代表者印

指定事業所番号	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
事業所 名称	グループホーム文京									
類型	介護サービス包括型									
地域区分	1級地									
人員配置区分	4対1									
精神科医療連携体制加算	算定不可									

精神科医療連携体制加算の算定要件を満たしているものとして都に届け出た事業所は「算定可」にしてください。

手順④

サービス提供月	平成	〇	〇	年	4	月	分	明細書件数	4
---------	----	---	---	---	---	---	---	-------	---

全ての都加算明細書を作成後に、作成した『都加算明細書』の件数を記入

請求金額				百	千	万	円
	¥	4	6	0	0	0	

全ての都加算明細書を入力後に、『集計表』の「総合計金額」を記入

金額の先頭に「¥」マークを入力

請求担当者	氏名	文京 二郎
	連絡先	03-1234-5678

手順②

記入例

都加算額請求用

都加算明細書(案)
(共同生活援助)

黄色いセルに入力してください。

『都加算請求書』を入力すると自動的に記載されます。

平成 3 0 年 0 7 月分	
受給者証番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業所番号 1 3 2 0 4 0 0 0 0 0
支給決定障害者氏名 東京 花子	事業所の名称 東京ホーム
主たる障害の種別 精神障害者	類型 介護サービス包括型
障害支援区分 区分2 当該月の都基準日数 31 日	地域区分 1級地
ユニット名 東京ホーム 1	人員配置区分 4対1
通過型の指定 指定有	精神科医療連携体制加算 算定可

半角で1字ずつ入力してください。
国保連請求時に使う『訓練等給付費等明細書』の「給付費明細欄」の基本報酬及び夜間支援等体制加算Ⅰ、Ⅱの「サービスコード」を入力してください。
(右ページをご覧ください)

サービスコード	サービス内容	算定単価額	日数	当月算定額	摘要		
33161	生活援助Ⅰ2	803	20	16,060			
33561	生活援助Ⅳ2	455	5	2,275	体験		
33					特例		
	国基本報酬算定無	4,190	6	25,140			
小計				A	43,475		
都夜間加算 ①				991	31	30,721	
335620	生援夜間支援等体制加算Ⅰ3 ②	3,897	18	70,146			
3356	②						
3356	②						
335640	生援夜間支援等体制加算Ⅲ	-	7	-			
①-② (ただし①-②≤0なら0)				B	0		
その他加算分		926	31	28,706			
精神科医療連携体制加算		330	31	10,230			
小計				C	38,936		
施設借上費	算定日数	月総日数	補助基準額	日割り額 a	補足給付 b	(ア) a-b	請求額 (ア)(イ)の低い方の額
	31	31	69,800	69,800	10,000	59,800	
			家賃額 c	更新料・礼金 d	補足給付 b	住宅扶助 e	
			55,000	0	10,000	45,000	0
当月都加算請求額 (A+B+C+D)					82,411	円	

体験利用の時に使用

個人ホームヘルプ利用の時に使用

国保連請求時に使う『訓練等給付費等明細書』の「給付費明細欄」の「回数」欄を入力してください。

国費の夜間支援等体制加算の当月算定額が、都夜間加算の当月算定額を上回っている場合、0円になります。

その月の暦の日数を入力してください。
(1, 3, 5, 7, 8, 10, 12月は「31」、4, 6, 9, 11月は「30」、2月は「28」又は「29」)

平成〇〇年 4 月分

共同生活援助サービス提供実績記録票

番号 9920000000

〇〇事業所

■旧様式からの変更点

- ・【住居外利用】欄を追加
- ・【自立生活支援加算】欄を追加
- ・【備考】欄から「医療連携体制加算」、「自立生活支援加算」の記載を削除
- ・【自立生活支援 入居中算定日】欄を削除
- ・【医療連携体制加算】欄を追加

日付	曜日	支援実績							利用者 確認印	備考			
		サービス提供の 状況	住居外 利用	夜間支援等 体制加算	入院時支援 特別加算	帰宅時支援 加算	日中支援 加算	医療連携 体制加算			自立生活 支援加算		
1	日			3				2					
2	月	入院											
3	火	入院											
4	水	入院											
5	木	入院											
6	金	入院				1							
7	土	外泊											
8	日	外泊											
9	月	外泊											
10	火	外泊											
11	水	外泊				1							
12	木	外泊											
13	金	外泊											
14	土							2					
15	日	入院											
16	月	入院→外泊											
17	火	外泊											
18	水	外泊→入院											
19	木	入院											
20	金	入院											
21	土	入院→共同生活住居に戻る→外泊											
22	日	外泊				1							
23	月					1							
24	火					1							
25	水					1							
26	木												
27	金					1							
28	土					1							
29	日					1							
30	月					1							
合計			1日		12回	2回	2回	6回	1回	1回			
自立生活支援加算		退居日	〇〇年4月30日	退居後算定日									

医療連携体制加算(I)が算定される支援を行った場合、「1」を記載する。

医療連携体制加算(II)が算定される支援を行った場合、「2」を記載する。

医療連携体制加算(IV)が算定される支援を行った場合、「4」を記載する。

入院の初日:「入院」
入院の中日:「入院」
入院から共同生活住居に戻った日:「入院」
(居住系共通)

外泊の初日:「外泊」
外泊の中日:「外泊」
外泊から共同生活住居に戻った日:「外泊」
(居住系共通)

入院の初日:「入院」
入院から外泊に移行した日:「入院→外泊」
外泊の中日:「外泊」
外泊から入院に移行した日:「外泊→入院」
入院から共同生活住居に戻った日:「入院」
入院から共同生活住居に戻り同日において外泊に移行した日:「入院→共同生活住居に戻る→外泊」
(居住系共通)

入院、外泊等通常に支援を行った日については、当該欄の記載は必要ない。
(居住系共通)

日中サービス支援型の事業所において、当該受給者が日中を当該共同生活住居以外で過ごした場合、「1」を記載する。

報酬算定上は月1回を限度とするが、報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は記載する(同一月内で月2回算定できないが記載する)。

支給決定障害者が当該共同生活住居を退居した日を記載する。

退居後において自立生活支援加算が算定される支援を行った日を記載する。
※ 退居月と退居後における自立生活支援加算の算定月が異なる場合は、受給者証番号、受給者氏名などの基本情報と本欄の退居日、退居後算定日のみ記載する。

平成〇〇年 4 月分

共同生活援助サービス提供実績記録票

■旧様式からの変更点 ・【利用人数】欄を追加 ・【備考】欄から「利用人数」の記載を削除	厚生 太郎	事業所番号	9 9 2 0 0 0 0 0 0 1
		事業者及びその事業所	〇〇事業所

日付	曜日	外部サービス利用型 共同生活援助計画			サービス提供時間		算定 時間数	利用 人数	利用者 確認印	備考
		開始時間	終了時間	計画 時間数	開始時間	終了時間				
1	火	6:00	6:15	0.25	6:00	6:15	0.25			算定時間数は、0.25(15分)単位で記載する。
4	金	9:00	10:00	1	9:00	10:00	1			
4	金	17:00	18:00	1	17:00	18:00	1			サービス提供を行っていない時間(空き時間)が2時間以上の場合、複数のサービス提供として取り扱い、算定時間数は別々に記載する。
5	土	9:00	10:00		9:00	10:00				
5	土	11:00	12:30	2.5	11:00	12:30	2.5			サービス提供を行っていない時間(空き時間)が2時間未満の場合、一連のサービス提供として取り扱い、算定時間数は最終行にまとめて記載する。
										受託居宅介護サービス費を算定する時間数を記載する。
8	火	10:00	12:30	2.5	10:00	12:30	2.5			
										複数人のヘルパー(複数事業者がヘルパーを派遣している場合を含む。)でサービスを提供し、派遣時間がずれた場合(例:ヘルパーAが10:00~12:00にサービス提供し、ヘルパーBが11:00~12:30にサービス提供した場合)、開始時間、終了時間は利用者がサービス提供を受けた最小の時間と最大の時間を記載する。 算定時間数は利用者がサービス提供を受けた開始時間から終了時間までの所要時間を記載する。
										1人のヘルパーが複数の利用者を支援する場合は、1回の利用者の人数を記載する。
10	木	10:00	11:00	0.25	10:00	11:00	0.25	4		
										1人のヘルパーが複数の利用者を支援する場合は、1回のサービス提供時間を1回の利用者の人数で除した結果の利用者1人当たりの所要時間(0.25(15分)単位)を記載し、 利用人数欄に、1回の利用者の人数を記載する。
合計				7.5			7.5			